

# 又復与太話

国枝史郎

青空文庫



日本の新興探偵小説界、宝石などは扱わないと云われる。ようござんす、認めましょう、しかし宝石に類したもののばかりを扱っているではありませんか。文字にとらわれずに精神をご覧下さい。

×

甲賀三郎氏の批評ぶり、頸烈の度を加えて来ました。一種の壮快さを覚えます。しかし少々趣味にとらわれ、潔癖の押売りをするようです。

×

その組立から云う時も、その文章から云う時も平林氏の「犠牲者」は、寧ろ欠点の多い作です。そういう欠点は有<sup>なが</sup>乍<sup>なほ</sup>らも尚素晴らしい作なのです。完全無欠という様な批評はこの作へは下せませすまい。

×

悲劇は人生の上つ面を撫で喜劇は人生の底に触れる。少し大袈裟な引例ですが、シエクスピアとモリエールとを比べても、何んだかそんなように感じられます。牧逸馬氏の軽快なコントが、案外人生に触れているのも、一例として可<sup>よ</sup>いようです。

否定に立つか？ 肯定に立つか？ これは困難な問題でしようが、少くも在来の探偵小説の型を、否定しようと企てる所に、新興探偵小説の、意義があるのでは無いでしょうか？ 企てている者きわめて寥々。

新青年の合作「五階の窓」甲賀氏作迄読みましたが、眼を驚かさばかりの名作です。江戸川氏は例に由つて名文を以て、平林氏は嚴密の解剖を以て、森下氏は素晴らしい事情通を以て、甲賀氏は温和な人情味とフロイドの精神分析学とを以て。——さていよいよ私の番だが、誓つて無類の此作を、迎もたまらない悪作にして見せます。

日本の探偵創作家と、日本の探偵翻訳家と、どっちへ頭を下げるかというに、もうもう是は問題にもならない。翻訳家の方へ頭を下げます。

可い標語が復出来ました。「獵奇小説」というのです。

あくどい作も好きですが、松本泰氏の作のような、水際立った清ソな作も、又非常に大好きです。併し<sup>しか</sup>松本氏はその作風のため、現在では損をしています。しかも頑として作風を変えません。将に<sup>まさ</sup>壮烈と云う可<sup>べ</sup>きでしょう。

×

文芸春秋にだったと思いますが、中村星湖氏が斯<sup>こ</sup>ういう意味のことを書かれたように記憶しています。「よい文学とよい批評と、よい生活とを欲している」と。その時私は思いました。「よい文学もタマには見られ、よい批評もマレには聞かされるが、よい生活だけは得られそうもないなあ」と。そうして更<sup>さら</sup>に付け加えました。「文筆労働者の私としては、もう一つの要求があるのです、よい編集者が欲しいのです」と。沢山原稿料を下さるのも、よい編集者には相違ありませんが、更に一層のよい編集者は作者に勇気を与えてくれます。つまり信頼してくれるのです。そういう編集者があるでしょうか？ 私の知っている範囲でも、たしかに十人はございます。——と斯う書くと日本中の編集者、それは俺だろう俺だろうと、顔を出されるかも知れませんが、私はもう一度云って置きます、十人ぐらしか知らないのです。しかしあんまり信頼されると、又是ヘンなものになるようです。或雑誌の或編集者が、こんな手紙を下さいました。「原稿紙は六枚でそれこそ読者が飛び上

がる程面白い作を書くように」と。そこで私はその手紙を机の上へおっぴろげ、大変懇懇に独語しました。「このヤクザな大衆作家を、チエホフやモーパッサンと同じように、評価して下さったのは名誉です。しかしどんなに高く踏んでも、チエホフやモーパッサンには手が届きません。どうもね、原稿紙六枚では」そこで私は懇切におことわりの手紙を出しました。

# 青空文庫情報

底本：「国枝史郎探偵小説全集 全一卷」作品社

2005（平成17）年9月15日第1刷発行

底本の親本：「探偵趣味」

1926（大正15）年7月

初出：「探偵趣味」

1926（大正15）年7月

入力：門田裕志

校正：きゆうり

2019年3月29日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 又復与太話

国枝史郎

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>